

フクムギ情報

福井県産【大麦・小麦】の
収量アップを目指して!!

JA福井県

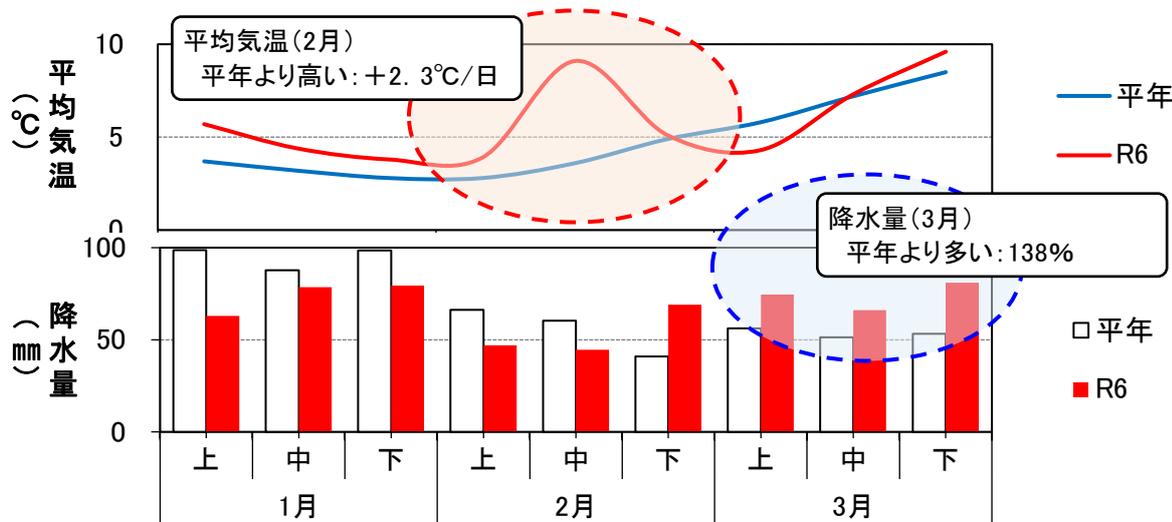
No.5

(ファイバースノウ・はねうもち)

令和6年産大麦は暖冬と降雪が少なかったことで生育が過剰傾向にあります。昨年と比べ若干生育は遅れておりますが今後の気温により早まる可能性があります。5月下旬には刈取適期となりますので、十分な準備を行い今後の作業を行いましょ。

1. 大麦生育状況

- 暖冬の影響で茎数が多い傾向です。
- 11～12月の雨の影響から、排水不良による湿害の被害が平年より多く見られます。
- 平場で早いところで4月8日頃より出穂、中山間では4月13日頃から出穂見込です。



2. 赤カビ病防除

★大麦の防除(時期や薬剤)については、担当の営農指導員へ相談下さい。

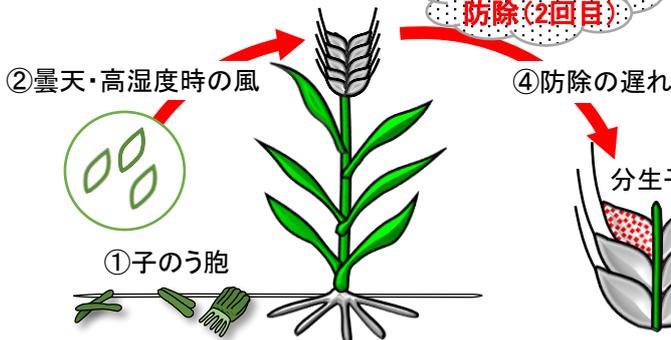
- 赤カビ防除の目安は、平場では4月15日頃が1回目、中山間では4月20日頃になります。
- 赤カビの基幹防除は2回。一旦赤カビが発生すると出荷停止になりますので必ず2回防除を行いましょ。2回目の防除は1回目の7～10日後が適期となります。

【赤カビ病のメカニズム】 出穂期から乳熟期にかけて、曇天・降雨が続く、気温が高いと発生します。

第1次伝染(子のう胞子)

③出穂後: 子のう胞子の侵入

穂揃期以降の
防除(2回目)



稲株・ワラ等で子のう胞子が形成(2～3月以

第2次伝染(分生胞子)

- 鮭肉色(ピンク色)の分生胞子座(分生胞子の塊)が生じ、多数の分生胞子が形成される

